

少子化に関する県民意識調査について

1 調査の目的

本県における子育ての現状や少子化対策に関する県民の意識やニーズ等を把握するための調査を行い、本県の特徴を把握するとともに、次期少子化対策推進基本計画（子ども・子育て支援事業支援計画を含む。）策定のための基礎資料とする。

2 調査時期

平成 25 年 10 月

3 調査の概要

「あいち はぐみんプラン」策定時に実施した「少子化に関する県民意識調査」と同じ調査地域、調査対象、標本数、調査方法によって行う。

| | 内 容 |
|--------|--|
| 1 調査地域 | 愛知県内全域 |
| 2 調査対象 | 愛知県内に居住する満 20 歳から 49 歳の男女 |
| 3 標本数 | 3,000 人 |
| 4 抽出方法 | 住民基本台帳等に基づく無作為抽出法 |
| 5 調査方法 | 郵送法（郵送により調査票等の送付、回収を行う。） |
| 6 調査項目 | 結婚や子どもを持つことに対する意識、子育てに関する現状認識等少子化に関する意識を問う設問（40 項目程度を予定） |
| 7 実施方法 | 調査専門業者 ^{※1} に下記の内容を委託する。 【委託の内容】 調査票 ^{※2} の調整、作成、印刷、データ入力・集計・分析 報告書の作成等 ※1 調査専門業者は、一般競争入札により選定 ※2 調査票の設問項目は、子ども・子育て会議において検討・決定 |

4 スケジュール（予定）

| | |
|---------|-------------------|
| 8 月 | 子ども・子育て会議に設問項目案検討 |
| 9 月 | 標本（調査対象者）の抽出 |
| 9～10 月 | 調査票発送準備 |
| 10 月 | 調査実施 |
| 11～12 月 | 集計 |
| 1 月 | 結果報告書素案作成 |
| 3 月 | 子ども・子育て会議に結果報告書提出 |

5 調査項目設定の考え方

「あいち はぐみんプラン」策定時に実施した「少子化に関する県民意識調査」（平成 20 年 10 月調査実施）との経年比較を実施するため、同調査の調査項目を基本とし、最近の情勢や「子ども・子育て支援事業支援計画」の策定にあたり必要な項目などを追加した設問内容とする。

<追加した調査項目>

- ① 少子化対策に特効薬はなく、様々な施策を幅広く行っていく必要があるが、県として特に重点的に取り組むべき施策を問う設問（H23 県政世論調査との経年比較を実施）を追加
- ② 子育てについての意識や参加の状況だけでなく、出産を契機とした実際の変化について問う設問を追加
- ③ 労働人口が減っていく中、女性の能力が活かせる社会環境となっているかが重要であり、子ども・子育て支援事業支援計画においても、仕事と生活の両立のための雇用環境整備に関する事項が記載事項（任意）となっているため、男女ともに働きやすい職場環境やワークライフバランスに関する設問を追加
- ④ 生涯未婚率が男女ともに上昇し続けている現状があるため、結婚を支援する施策を問う設問を追加

<変更した調査項目>

子育てに係る制度の設問については、新制度の事業区分にあわせ、「幼児期の学校教育」「保育」「地域の子育て支援」で項目を整理しなおし、前回調査時になかった認定こども園等の選択肢を追加した。

6 「少子化に関する県民意識調査」調査項目（案）

※下線は今回新規に追加した設問

| | |
|--|-----------------------------|
| 1 少子化に関する意識 | |
| 1 少子化への危機感 | 2 少子化が与える影響 |
| 3 「安心して子どもを産み育てることができる社会」のための施策 | |
| 4 理想子ども数と予定子ども数 | 5 予定子ども数が理想子ども数を下回る理由 |
| 6 仕事を辞めた経験 | 7 就業状態及び再就職の意思 |
| 8 女性が子育てしながら働く上での問題点 | |
| 2 子どもがいる人の子育てに関する意識 | |
| 9 子どもと過ごす時間 | 10 子育ての良い点 |
| 11 子育ての負担な点 | 12 子育てへの関わり状況 |
| 13 子育てへの関わりが不十分な理由 | 14 子どもが生まれてからの時間の使い方 |
| 15 男性の育児への参加状況 | |
| 16 子育てに利用しなかった（してみたい）制度 | |
| （1）利用しなかった（してみたい）子育て支援サービス | |
| （2）利用しなかった（してみたい）理由 | |
| 17 職場での育児関連制度の利用状況 | 18 育児休業を取得しなかった理由 |
| 19 子どもを通じたご近所づきあい | 20 子育ての喜び |
| 3 独身者の結婚に関する意識 | |
| 21 結婚の意志 | 22 結婚の利点 |
| 23 独身にとどまっている理由 | |
| 4 ワークライフバランスに関する意識 | |
| 24 ワークライフバランスの状況 | 25 仕事への意欲 |
| 26 子育てしやすい職場環境 | 27 子育てしにくい原因 |
| 5 期待する少子化対策 | |
| 28 結婚を支援する施策 | 29 安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策 |
| 30 育児を支援する施策 | 31 地域社会における住民同士の助け合い |
| 32 「はぐみん」「はぐみんデー」の認知度 | |
| 6 回答者の属性 | 33～41 |
| 合計 41 問 | |